

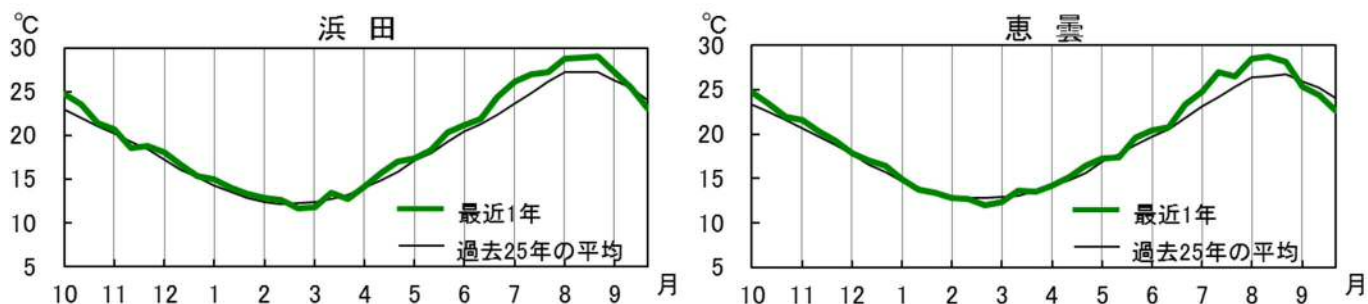


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9月の海況》



9月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	25.3°C	±0.0°C	平年並み	24.1°C	-1.0°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	やや低め			やや低め		



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の5割、サバ類は平年の3割でした。隠岐地区ではマアジ、ウルメイワシ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は20.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは516トンで平年の1.8倍、ウルメイワシは400トンで平年の4割、ブリは322トンで平年の6割となりました。例年漁獲量の多いマイワシは111トンで平年の1割未満となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の69%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は107.3kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の77%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は13.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、アカムツを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は12.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.6倍、アカムツは平年の8割でした。その他、アマダイ類は平年の3.1倍、マダイは平年の2.0倍、マトウダイは平年の1.5倍、ヤナギムシガレイは平年の1.3倍と好調であった一方、カワハギ類は平年の9割、アンコウ類は平年の7割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではキダイ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は221トンでした。1統1航海当りの漁獲量は763kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、キダイおよびアンコウ類は平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の7割でした。その他、イトヨリダイは平年の2.8倍、ホウボウは平年の1.5倍と好調でしたが、マダイは平年の9割、マトウダイは平年の7割、アカムツ、ニギスおよびカワハギ類は平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は34.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3.8倍、サワラ類は平年の5割、マアジは平年の2.2倍でした。石見地区ではサバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は26.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3.0倍でした。隠岐地区ではカンパチ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は2.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カンパチは平年の2.0倍、ブリは平年の3割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.6kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の5割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の4割でした。隠岐地区では、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キントキダイ類は平年の1.3倍でした。

【令和4年9月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、ウルメイワシ、ブリ	1,784トン	22%	29%	20.7トン	37%	40%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	1.2トン	36%	13%	107.3kg	260%	158%
	西郷	ケンサキイカ	0.1トン	4%	1%	13.0kg	11%	14%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、アカムツ	237トン	97%	88%	12.5トン	102%	100%
小型 底びき網	大田	キダイ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類	221トン	66%	64%	763kg	88%	100%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、サワラ類、マアジ	345トン	95%	96%	34.5トン	124%	124%
	石見	サバ類	79.9トン	124%	98%	26.6トン	124%	118%
	隠岐	カンパチ、ブリ	5.4トン	16%	15%	2.7トン	25%	21%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	21.0トン	116%	77%	22.6kg	110%	104%
	石見	ケンサキイカ	15.1トン	64%	54%	18.1kg	100%	92%
	隠岐	キントキダイ類	10.2トン	66%	47%	17.7kg	90%	81%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ